

# ハローワーク奈良 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

- ・早期再就職及び求人充足を促進するため、マッチングによる求人情報提供を積極的に取り組みました。
- ・就職面接会は34回開催し、参加企業数は延べ106社で、面接会開催前には職業相談部門担当が参加企業を訪問し、求める人物像や仕事内容等を詳細に聞き取り、担当者間で情報共有し求職者のマッチングを強化しました。
- ・就職面接会直前には、就職支援セミナーを開催し、就職面接会への参加を促すことで集客力アップに努めました。結果、参加者数延べ527人で111人が就職できました。（うち、福祉分野18回開催、56事業所、312人参加、71人就職）
- ・自治体と連携した就職面接会は、奈良市、生駒市、天理市において延べ10回開催し、事業所は44社、求職者は159人の参加があり、うち32人が就職しました。特に、参加事業主からは、「地域における事業所PRになる。」と評価をいただきました。
- ・当所のマザーズコーナー、わかものコーナー、就職氷河期支援コーナーなど各専門コーナーの就職支援対象者には、担当者制による継続した支援を行い、高い就職率を上げることができました。
- ・職業相談、専門相談、求人部門の統括職業指導官以下の職員一人あたり3回以上の事業所訪問を実施しました。また、職員育成の観点から若手職員を同行させ、訪問にあたっては、求人票以上の事業所情報の収集等を行い、求人充足支援に取り組みました。
- ・オンラインにより迅速に求人情報等を提供するため、新規来所される求職者全員に求職者マイページ開設の案内を行い、開設完了まで職員がサポートを行うようにしました。結果、求職者マイページの開設割合は新規求職者の8割を超えました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・若手職員を対象として、労働法令や令和6年4月から適用となる「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」について労働基準監督官と意見交換を行い、知識を深め求人業務を円滑に進めることができるよう取り組みました。
- ・職業訓練制度をより多くの求職者に周知するため、職業相談部門担当者を対象に職業訓練制度についての研修を実施し、すべての職業相談窓口において、職業訓練制度を活用した就職支援を案内できるよう取り組みました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

・ハローワークインターネットサービスの機能向上により、所内の求人閲覧端末のニーズが減少してきていることから、端末台数の適正化を図り、これまで狭隘であった待合スペースを広げました。また、来所者の導線に配慮するため総合受付を移設し、混雑時の応援体制が円滑に行えるよう庁舎レイアウトの変更に取り組みました。

・来所者の方の待ち時間や事務処理の時間の短縮を図り、かつ迅速なサービスを提供するため、オンライン求職登録と求職者マイページの開設を促進し、マイページを開設された後は、マッチングした求人情報や就職面接会等の情報をリアルタイムで提供しました。また求人情報の送信後には、電話によるフォローを行い、迅速かつ丁寧なサービス提供に取り組みました。

・新卒応援ハローワークやマザーズコーナーでは、SNSを活用して就活セミナーや求人説明会・就職面接会等の情報発信に取り組みました。

## (3) その他の業務運営についての分析等

・就職件数、充足数、雇用保険受給者の就職件数について、日々の進捗状況を職員専用通路に掲示することにより、全職員に目標達成に対する意識付けを行い、日々の業務に取り組むためのモチベーションアップに繋がることから引き続き継続していきます。

・今後は、求職者ニーズや求人動向を詳細に把握し、その状況に応じた対策を講じる必要があります。また、子育て世帯に対する各種施策も踏まえつつ、地方自治体や経済団体等と連携し、地域が抱える課題解決に向けた取組を進めていきます。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

・庁舎エントランスのデジタルサイネージや待合席のモニターにて、事業所PR動画やスライドショーによる周知広報を行うなど、事業所の情報発信に取り組みました。事業所の協力を得ながら、今後も事業所情報をわかりやすく発信するツールとして展開していきます。

・求職者の多様なニーズに対応するため、年度後半から定期的に職員による「事例検討会」を実施し、職業相談部門の担当がそれぞれ意見交換を行い、職業相談技法のスキルアップにつなげることに取り組みました。

・奈良県地域就職支援センター、生駒市ふるさとハローワーク、天理市しごとセンターの新規利用者拡大のため、本所にて施設の案内、過去に利用のある方への近況確認を行うなどの取組を進めており、さらなる周知、広報を図っていきます。

## 2. 特記事項

特になし

## 3. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 4. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	新卒者支援 に係る就職 支援ナビ ゲーターの 支援による 新規卒業予 定者等(既 卒者含む) の正社員就 職件数	わかものハ ローワーク 等を利用し て就職した フリーター 等のうち正 社員として 就職したも の割合	公的職業 訓練修了3 か月後の 就職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職件数		
令和5年度目標	5,215	4,965	1,687	90.0%	90.0%	405	672	65.0%	346	95.1%	260		
令和5年度実績	4,643	4,478	1,547	77.0%	95.9%	657	580	65.0%	375	96.3%	274		
目標達成率	89%	90%	91%			162%	86%	100%	108%	101%	105%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。



# ハローワーク大和高田 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 就職促進の取組

- ・初めてハローワークを利用される方に対して、ニーズの把握を丁寧に行うとともに、担当コーナーへ適切に誘導が行えるよう、スタッフ間で連携して努めることができました。
- ・より多くの求職者の方が安心してハローワークの利用ができるよう、求職者担当者制による個別での就職支援を行い、予約相談によるきめ細やかな支援を進めることができました。
- ・求職者マイページのメリットを丁寧に説明することで、求職者マイページの開設率は、41.7%（前年3.6ポイント増）となり、開設後の求人情報の提供やマイページを活用した相談等、ハローワークのサービスが利用しやすくなるための取組を進めることができました。
- ・子育て世代の方が気軽にハローワークを利用していただくため、管内の自治体と連携した就職活動のためのセミナーを積極的に開催することができました。（2市3町で8回実施）
- ・若者、就職氷河期世代、シニア世代等さまざまな世代の方に適した就職活動の方法について、職業相談、再就職支援セミナーを計20回開催し、就職支援に取り組むことができました。

#### ② 求人充足支援の取組

- ・職員が事業所訪問を積極的に実施することで、求人票のみでは伝えることができない事業所の魅力や画像情報、求める人材等の詳細な情報を取りまとめて分かりやすく表示した「事業所PRシート」を求職者の方へ提供することができました。
- ・求職者の紹介がない求人について、求人条件の見直しや仕事内容欄記載の充実等、求職者の応募に繋がるよう求人者に提案することを目的とした「求人充足会議」を所内で定期的開催し、求人の充足支援に努めました。
- ・事業所に対して、求人者マイページの利用促進と便利な利用方法の周知を積極的に行い、オンラインでの求人受理割合を85%以上とすることができ、求人者の利便性の向上を図ることができました。

#### ③ 雇用保険受給者の早期再就職支援

- ・失業給付の手続き後、最初の失業認定日までに求人情報を提供したり、さまざまな就職支援を行うことで、多くの方に早期再就職を実現することができました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

### ① 就職促進の取組

- ・シニア層の方を対象に「求職者マイページ活用セミナー」を開催し、オンライン活用について理解いただくことで、求職活動方法の幅を広げられるように努めました。
- ・オンラインのみで求職活動をされている方に対して、ハローワーク利用のメリットについてご案内をすることで、来所により得られるサービスへ繋げることができました。
- ・ハローワークを利用していない方への周知が弱かったことから、ハローワーク大和高田公式LINEを新たに立ち上げ、登録者を増やしていくことにより、SNSを活用した情報発信でのハローワーク利用のメリットについて取り組みました。

### ② 求人充足支援の取組

- ・求人手続きのオンライン化が進むことで、事業所の利便性が向上した一方で、ハローワークと事業所との接点が少なくなってしまうことから、採用難に悩んでおられる求人事業所向けのセミナーを開催し、49社の参加がありました。その中で、求職者の方のニーズを踏まえた魅力的な求人の作成方法や、ハローワークで行っている充足に関する各種サービス、就職支援についてお伝えすることができました。

## (3) その他の業務運営についての分析等

### ① ハローワークの周知・広報

- ・ハローワークを利用していない方へも、ハローワークのサービス内容が行き届くよう、自治体広報を活用した呼びかけの他、新たにハローワーク大和高田公式LINEを開設し、X（旧Twitter）と併せてSNSを活用した情報発信による利用勧奨を行いました。
- ・地域の方が利用する近隣の大型商業施設等において、ハローワークのイベントや職業訓練に関するチラシを設置し、ハローワークのサービスを知っていただく取組を行うことができました。

### ② 他のハローワークとの連携

- ・近隣のハローワークと連携した事業所訪問を行い、得られた詳細な情報を求職者の方へ提供することができました。
- ・管轄を超えたサービス利用を呼びかけるため、近隣のハローワークと合同での就職面接会、セミナーを開催することができました。

### ③ 地方自治体との連携

- ・ハローワークの職員が自治体を定期的に訪問し、地域の情報交換を積極的に行うことで自治体との連携強化を図ることができました。
- ・橿原市との雇用対策協定に基づく事業目標達成のため、マザーズセミナー（2回）、合同面接会（2回）について共同での取組を実施し、オンラインの活用も含めた新たな取組も進めることができました。
- ・王寺町との一体的実施事業における取組として、マザーズセミナー（1回）、合同就職面接会（3回）を共同で実施しました。
- ・橿原市及び葛城市での仕事関連イベントにおいて出張相談を行いました。

#### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

##### ① 就職促進の取組

- ・職業相談を充実したものとし、利用者の満足度を向上させるため、求職者担当者制をより積極的に推し進め、きめ細やかな相談に対応できる体制づくりを図ります。
- ・多くの求職者の方へニーズに合った求人情報が届けられるよう、的確なマッチングのための研修等による人材育成を進めてまいります。
- ・ハローワークや地域の付属施設を知らない方に対して、初めての利用のハードルを下げるため、サービスメニューの内容と利用のメリットについて、ホームページやSNSでの発信を強化します。
- ・就職面接会や事業所見学会等のイベントの他に、事業所の詳細情報の収集と提供を強化していきます。

##### ② 求人充足支援の取組

- ・求人票以上の事業所情報の収集と求人充足のためのフォローアップを強化するため、事業所訪問を積極的に行ってまいります。
- ・より多くの求人を担当者制とし、職員の専門性を高めることで、求人充足支援強化を図ります。
- ・ハローワークを利用していない事業所に対してハローワーク利用のための周知や新規開拓を強化し、多様な求人の確保に努めます。
- ・人材不足分が著しい分野の事業所については、充足のための相談強化と事業所の人材確保力向上のためセミナーを開催します。

##### ③ 雇用保険受給者の早期再就職支援

- ・雇用保険受給者の方の早期再就職ができるよう、失業の認定日における相談時に、より多くの情報が提供できる体制づくりを進めます。
- ・お待たせせず計画的な就職活動が進められるよう、予約制による職業相談を拡大いたします。

## 2. 特記事項

特になし

## 3. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 4. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	わかものハ ローワーク 等を利用し て就職した フリーター 等のうち正 社員として 就職したも の割合	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職件数				
令和5年度目標	5,200	4,534	1,450	90.0%	90.0%	378	65.0%	95.1	208				
令和5年度実績	4,872	4,324	1,556	89.8%	97.9%	406	80.3%	95.6	329				
目標達成率	93%	95%	107%			107%	123%	100%	158%				

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。



# ハローワーク桜井 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

- ・求職者サービスを充実させるため、求職者担当者制による個別支援の強化を図るとともに、就職件数の目標達成に向け、毎月の目標に対する進捗管理を日々実行し、定期的な改善策等の検討や職員研修(就職に結びついた好事例の情報共有や紹介技法、手法等のスキルアップを図る)を実行し、マッチングの強化に取り組みました。
- ・ビデオセミナーや就職支援セミナー（サクセス就活塾）を定期的に開催し、求職者に対して就職活動の支援強化を図りました。
- ・雇用保険受給者に対する早期再就職への取組として、求職申込時における職業相談での求人票の提示を行い、その後の初回認定日における職業相談時においては、事前にマッチングにより選定した求人票を提示し、より詳細な求職者ニーズ等を把握する相談を行うとともに、求職者担当者制への移行を図り、早期再就職支援の実施に取り組みました。
- ・初回認定日における職業相談時には、受給資格者証裏面に貼付した、再就職手当の支給額の目安を記載したシミュレーションシールにより、早期再就職のメリットを説明し再就職への意欲喚起を実行しました。
- ・求人者サービスを充実させるため、管内求人に対する早期充足支援への取組として、職員及び求人者支援員が事業所訪問を行い、事業所情報の詳細を「事業所PRシート」として作成し、ハローワークおすすめ求人コーナー「ハローワーク職員が行ってきました」と称した掲示コーナーに掲示し、早期充足支援を実行しました。
- ・毎月、「求人充足会議」及び「ミニ面接会」を開催するなど求人充足支援に取り組みました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・幹部職員による日々の朝礼の実行、及び毎月の幹部会議・職員会議の開催、職員研修等を実施し、業務進捗管理、個人情報漏えいの防止及び倫理規程の遵守など職員及び非常勤職員の資質の向上に努めました。
- ・所長による職員等の個別面談（3回）等において、取組の方向性（目的）、取組内容等を具体的に示し、ハローワークの使命、組織目的及び「誰のため、何のための取組か」ということを常に認識させ、支援における意識の向上に取り組みました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

#### ① 雇用保険受給者の早期再就職支援の取組

- ・今年度より、新規求職申込時の職業相談内容により、その時点で求人票の提供を行うことに取り組みました。また、その後に設定している初回講習会には、事前マッチングにより準備した求人票を提示し、さらに、初回認定日における職業相談時には求人票数件を事前に準備し提示することなどにより、担当者制による支援に移行し、雇用保険受給者が早期に再就職できるよう継続した支援を実施しました。

② 雇用保険給付担当部門と職業相談部門との連携による再就職支援の強化

- ・失業認定日における職業相談時には、自己応募による活動申告のあった緊要度が高いと思われる受給者の情報を、給付担当者から職業相談担当者へ回送し、誘導することにより、能動的マッチングによる積極的紹介による早期再就職促進に取り組みました。
- ・給付担当者による次回失業認定日の案内の際には、就職支援セミナーリーフレット、求人情報一覧、安定所のサービスメニューのリーフレットを手交し、早期再就職への意欲喚起を行いました。

(3) その他の業務運営についての分析等

- ・当所管内では、60歳以上の求職者が全体の30%近く占めており、生涯現役支援窓口におけるシニア世代に対する就職支援を重点的に取り組みます。シニア層の就職件数及び充足数の向上を図るとともに、管内求人に対する充足支援につなげるため「シニア求人情報」の定期発行を行うことにより、地域の皆様から、より一層信頼され、常に利用者の期待に応えることができるハローワークを目指し、職員一人ひとりが求人者及び求職者支援に取り組んでいきます。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

- ・オンライン化の進展により、求人の受理については、これまでのように窓口で求人内容を確認、助言しながら求人申込みを受理していた流れから大きく変わり、事業所の方と接する機会が減少しているため、今後は積極的な事業所訪問を行い、求人票以上の事業所情報収集と所内での共有を図るとともに、事業所PRシートの作成及び掲示により求人者支援の充実に取り組んでいきます。

## 2. 特記事項

特になし。

## 3. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 4. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	障害者の 就職件数	人材不足 分野の就 職件数					
令和5年度目標	1,778	1,429	455	90.0%	90.0%	135	139	400					
令和5年度実績	1,643	1,268	509	88.7%	99.0%	196	160	419					
目標達成率	92%	88%	111%			145%	115%	104%					

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。



# ハローワーク下市 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

- ・就職、充足、雇用保険受給者の早期再就職をはじめとするすべての指標の底上げを目指し、昨年度に引き続き就職面接会イベントを月2回以上開催することを目標に掲げ、取組を進めました。
- ・特に、複数企業の参加による合同面接会イベント開催に当たっては、参加企業が所在する自治体の協力を得て、庁舎や公民館などその所有施設を会場として提供いただき、実施しました。
- ・合同面接会については、参加者の利便性向上を図るとともに、自治体が発行する広報誌などを通じ地域住民の皆様にも周知いただくなど、イベント効果の向上を目指し取組を進めた結果、開催回数42回、参加企業数延べ89社、参加者数415名、就職者数133名となり、参加企業数及び参加者数については前年度実績を上回る結果となりました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・中長期的な職員の育成を図る観点から、奈良労働局基本方針「多様な人材を育成するための3ヶ年計画」におけるプロジェクトチームに基づき若手職員の人材育成を行いました。
- ・ハローワークにおける職業相談等に必要な知識等を身に付けることを目的とした所内研修や大淀労働基準監督署職員による労基法等の研修を実施しました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

- ・ハローワークシステムに「マイページ」の機能が加わり、利用者サービスの様々な手続きがオンラインで行えることとなりましたが、前年度は求職者マイページを活用したサービスのオンライン利用が低調であったため、その利用促進に重点的に取り組みました。
- ・年度前半はオンラインによる職業相談に、年度後半は求職者マイページ開設促進を重点的に取り組んだ結果、オンライン職業相談を初めて実施することができました。また求職者マイページ開設促進もハローワーク来庁者への利用案内を強化し、担当職員全員で取り組みを進めました。
- ・オンライン職業相談は、その後の利用拡大につながらず、求職者マイページは、利用率拡大が思うように進まない状況が見られ、引き続き次年度の課題として改善が必要です。

### (3) その他の業務運営についての分析等

- ① SNSを活用したハローワークサービスの周知
  - ・求職者の方に、ダイレクトかつタイムリーなイベント情報提供を行うため、ハローワーク下市LINE公式アカウントを開設して、就職面接会や就職支援セミナーの開催情報等の情報発信に取り組みました。
- ② 雇用保険受給者に対する再就職支援
  - ・昨年度に引き続き、雇用保険受給者全員を担当者制による就職支援強化の対象とし、個々のニーズに応じた職業紹介サービスの提供を実施し、多くの方の早期再就職の実現に取り組みました。（富士山プロジェクト）
- ③ ハローワーク未利用者に対する利用案内
  - ・仕事探しの意思がありながら、ハローワークに出向く時間がないなど、求職活動に着手できていない地域住民の方に向け、ハローワーク利用促進の一環として、管内主要商業施設（スーパー、ドラッグストア等）に協力を依頼し、店内の目につきやすい場所にイベントチラシや求人情報誌等の広報用資料を配置させていただくこととしました。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

- ・求職者向けオンラインサービスの利用が低調だったので、今後、ますますデジタル化が進展していく中、ハローワークの職業紹介サービスにおいてもオンライン化は必要不可欠であることから、次年度においては、その利用率アップに関する方策に重点的に取り組むとともに、若年者を中心とした利用者に対応するため、ハローワーク利用勧奨に係る広報活動にも精力的に取り組んでまいります。
- ・求人者サービス向上の観点から、地域企業の人材確保に貢献できるよう、事業所訪問による求人充足支援に向けた情報収集及び各種サービスの提供や助言を強化するとともに、就職面接会等を定期的で開催するなど、求人充足支援の強化を図ってまいります。

## 2. 特記事項

特になし

## 3. 総合評価 (※)

標準的な評価

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 4. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	生活保護 受給者等 の就職率						
令和5年度目標	1,182	1,097	212	90.0%	90.0%	77	64.6%						
令和5年度実績	1,098	1,001	186	85.7%	100.0%	81	79.2%						
目標達成率	92%	91%	87%			105%	122%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。





# ハローワーク大和郡山 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

- ・当所では、企業の人手不足感が高まる中、求人事業所支援、求人充足支援を重点的に取り組んできました。結果、充足数は令和4年度を上回ることができました。
- ・若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業であるユースエール認定制度の積極的な周知および勧奨により、管内で初めてのユースエール認定企業を選出することができました。
- ・求人事業所支援の一環として、奈良労働基準監督署及び奈良労働局助成金センターと連携して「事業主全力応援！セミナー」を4回開催して、参加企業から高い満足度を得ました。
- ・事業所担当者制による求人充足支援を行い、求人事業所との関係構築に努めました。
- ・求人担当及び職業相談担当職員による、求人充足支援をテーマとした事例検討会を7月に計6回実施し、その後の求人充足支援に生かすことができました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・障害者、高齢者、母子家庭の母等、就職氷河期世代、生活保護受給者等の就職困難者の支援に係る研修を9月に実施し、職員の資質向上に努めました。
- ・若手職員等の職業相談手法の能力向上を図るため、応募書類作成アドバイス等の職業紹介業務研修を2回実施しました。
- ・職員の求職者支援サービス向上を図るため、「求職者マイページ開設」をテーマとした事例検討会を6回実施しました。
- ・職業紹介業務においては、各種労働法の知識が必要となることから、奈良労働基準監督署の監督官を講師としての職員研修を実施しました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

- ・コロナ禍前より人手不足の状況であった医療福祉分野について、ミニ面接会を定期的に月平均3回の開催をして充足支援に努めていたものの、応募者等の伸び悩みが課題となっており、このため、8月、11月、2月を「医療福祉支援強化月間」と定めて、集中的に医療福祉分野のミニ面接会を開催し、人材確保支援することとしました。その結果、令和4年度より多くの事業所のミニ面接会を開催することができ、応募者等が前年度に比べ40%以上増加しました。

### (3) その他の業務運営についての分析等

・求職者の状況として、高年齢者層、男性にあっては60歳以上、女性にあっては55歳以上の新規求職者が増加しました。特に65歳以上の新規求職者数が著しく増加しました。

・管内事業所では、労働者の意向による所定労働時間週20時間未満への変更に伴う雇用保険被保険者の資格喪失者数の増加などで、週20時間未満勤務で在職中の新規求職者が増加しました。このため、求職者ニーズを踏まえた正社員就職の推進、パート求人や期間雇用求人などによる就職支援、副業・兼業希望者については、在職中の勤務との関係で、就労可能な求人への紹介などの多様な就職支援を図っていきます。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

- ① 迅速な求人受理手続きが可能となる「求人者マイページ」の普及に取り組み、オンライン利用率が98.8%となりました。その一方で、求人事業所との対面の機会が減ることとならないよう、事業所訪問を積極的に推進し、求人事業所との関係構築の強化に取り組みます。
- ② ミニ就職面接会については、「医療福祉支援強化月間」による集中的な取り組みにより医療福祉分野の充足率の改善を行いました。今後とも求職者と求人事業所とが出会える機会の拡大を図るため、就職面接会を通じて気軽に話が聞けたり相談できる「ミニ企業説明会・就職相談会」に改めて実施することとします。
- ③ 「求職者マイページ」の開設促進に取り組み、難病患者等の就職困難者や学生等の求職者については、来所の必要がないオンライン職業相談を実施してきましたが、オンラインによる更なる求職者サービスを図るため、管内自治体が運営する「創業支援センター」と当所の間で、オンライン職業相談の実施を進めていきます。

## 2. 特記事項

特になし。

## 3. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 4. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	公的職業 訓練修了3 か月後の 就職件数	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職件数					
令和5年度目標	1,955	1,555	636	90.0%	90.0%	161	131	83					
令和5年度実績	1,848	1,416	630	67.9%	98.9%	176	149	171					
目標達成率	94%	91%	99%			109%	113%	206%					

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

